

## Contents

### ■特集

- 01 今後の建築士に期待すること**  
—県内の有識者に聞く—
- ✓歴史と文化：星を見つけ、座を描く  
土屋 和男
  - ✓静岡の地域特性を知るのは、地元の建築士。  
石川 春乃
  - ✓起きてから「想定外」として片づけられない  
岩田 孝仁
  - ✓まちづくりの担い手としての建築士に期待する  
小泉祐一郎
  - ✓子供たちの建築的素養  
磯村 克郎
  - ✓熱いところを持ち続ける  
金丸 智昭

### ■事例紹介1

- 04 JR東静岡駅周辺を探索する**  
**06 新静岡県立中央図書館の基本設計概要**

### ■事例紹介2

- 08 歴史的建造物雑感** 吉崎 祥

### ■コラム

- 09 コーヒーブレイク**
- ✓建物ドラマにはまる 甘い物好き
  - ✓「星の王子様」と「天空の城ラピュタ」  
終わらない夢

### ■連載

- 10 ハイブリッド社会に生きる** 倉田 剛  
**11 景観整備機構【瓦版】** 塩見 寛

### ■お知らせ、編集後記

- 12 事務局からのお知らせ、入退会者、  
編集後記**

## 特集 今後の建築士に期待すること

—県内の有識者に聞く—

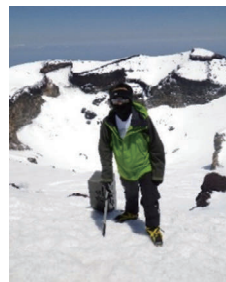
多様化する現代社会において、人口減少・少子高齢化への対応、環境問題への取り組み、昨今の頻発・激甚化する災害への備えなど、多くの課題が山積している。

コロナ禍は人々の働き方や暮らし方を変え、リモートワークの普及や都会と郊外地を行き来する二地域居住という新たなライフスタイルを生んだ。2025年4月の「建築物省エネ法」改正による省エネ基準の原則義務化は、脱炭素社会の実現に向け待たなしの対応を迫られている。さらにはDXの推進、行政手続きから確認申請に至るまで、あらゆる分野で電子申請は日常となり、BIMによる設計や現場におけるドローンの活用など日々技術は進化し、近い将来建築士の仕事はAIに置き換わる危機さえ感じる。

こうした中、建築士は社会的責務として、まちづくりや建築・設計等あらゆる行為を通じて、課題を克服し信頼に応えるための豊富な経験や、多彩で卓越した知識が求められている。

第65回建築士会全国大会「しずおか大会」が10月26日から28日の3日間、静岡市のグランシップほかで開催され、交流セッションや大交流会等、全国から集まる有志とともに熱い議論が展開される。そこで、建築士の役割やその目指す方向性、さらには建築士会という組織のありようなど、改めて見つめ直す良い機会と考えた。

本稿では、大会のテーマと重なる「歴史と文化」を始め、「環境」、「危機管理」、「まちづくり」、「デザイン」の各分野に明るい県内の学識経験者5名と、実務者を代表して士事協の金丸会長から、「今後の建築士に期待すること」について論じていただいた。



表紙の写真は富士山の頂上、標高3,776mにある石碑で、「日本最高峰富士山剣ヶ峰」と刻まれている。冬季の最も厳しい降雪時には石碑は頂部まで埋もれてしまう。

## 地元建築士会会員による「しずおか推しマップ」

全国大会開催地の地元である静岡地区と清水地区では、全国からいらっしゃる建築士の皆さんに「地元静岡市の推しスポットを紹介したい!」との思いから、

「しずおか推しマップ」を作成しました。(全国大会終了までの期間限定サイトです。)

ガイドブックに掲載されていないような地元情報が満載です。

全国大会での来静のついでの立ち寄り先選定にお使いください。

静岡県外の方にご紹介いただくと嬉しいです!

PCからは短縮URLでご覧ください。→ [bit.ly/43K8ekt](https://bit.ly/43K8ekt)

スマホからは右記のQRコードで。



上記QRコードをスマートフォンで読み込ませてください